



徳川家康の顎(あご)と徳川慶喜の顎の形のちがい

江戸幕府最後の第15代将軍徳川慶喜の肖像画を見ていると、やけにほっそりと面長の顔だなあ思うことがあった。江戸幕府を開いた徳川家康の肖像画は、四角顔で顎が発達し、ごつごつとした顔に見て取れる。この違いは何故なんだろうかとふと思ったことがある。その答えが新聞の特集記事「人類学者の警告」に載せられていた。それは、『便利な生活の裏側で進行する身体の変退化による健康被害』という内容であった。人類700万年の興亡を研究してきた人類学者の警告を踏まえわが子を守るには、まず日常の中でかむ(噛む)ことを実践することが重要だと記事の筆者は言っている。確かに現代人の中には、歯並びが悪く歯列矯正をしている子どもから大人まで見ることが多い。基本的に現代人は、見栄えが良くあまり硬くなく、そして形状を食べやすくした物を多く食べている気がする。大きな食べ物、硬い食べ物を食いちぎって食べる機会はあまりないようだ。結果的に歯並びが悪く口が大きく開かず滑舌が悪くなってしまっている子が増えてきていると指摘されていた。大きく硬いものを食べることで、顔の筋肉や顎の骨が鍛えられて歯並びが良くなり、しっかり食べ物をかめるようになるのだそうだ。標題に徳川家康の顎と最後の将軍慶喜の顎の違いと書いたが、江戸時代にあって将軍の食べ物に変化があったのではなからうか。265年間の間に、将軍の口に入る物は、やわらかいもの、食べやすい形の物に変化してきたと想像できる。その結果、顔や顎の形に違いが出たのではなからうか。食事は、健やかな一生を送るための重要な要素！暑い夏は、栄養のバランスを考えられ形の大きなもの、硬いものを食べるチャレンジをしてみたいはかがだらう。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山施設長 小関 正利

☆なかまCHANNEL☆

活動の一つに公園外出がありますが、現在、秋に開催される障がい者スポーツ大会に向けて、フライングディスクの練習を公園外出の中で取り入れています。フライングディスクの種目に参加される仲間の方は、上達できるように練習に励まれています。本番までまだ月日があるので、皆さん、上達を楽しみにされています。ファイト～！！



☆嬉しい贈り物☆彡

毎年、夏になると、嬉しい贈り物がたくさん届きます。今年もまた届きました！大きなスイカがなんと70個も！！「葦の家」を応援していただいている地域の方からの贈り物です。活動後、みんなでいただきました！いつも応援していただいていることや地域の方に支えていただいていることに感謝です。ありがとうございます！！



8月の予定



- 1日(木) ハローデイ春日店バザー
- 3日(土) 東油山盆踊り
- 6日(火) ハローデイ橋本店バザー

- 22日(木)ハローデイ周船寺店バザー
- 29日(木) ボンラパス薬院店バザー

